モダン、カラフル、チャーミング。
自然を見つめ、鮮やかに切り取る日本画家。待望の回顧展。

大分市に生まれた福田平八郎（1892～1974）は、18歳のとき京都に出て絵を学びました。自然を隅から隅まで観察した写実的な作品で評価を得たのち、昭和7年（1932）に《漣（さざなみ）》（重要文化財、大阪中之島美術館蔵）を発表し、その大胆な挑戦で人々を驚倒させました。その後も《竹》（京都国立近代美術館蔵）や《雨》（東京国立近代美術館蔵）など、色や形、視点や構成に趣向を凝らした作品を制作し「写実を基本にした装飾画」という新しい時代の芸術を確立しました。

大阪の美術館では初、関西でも17年ぶりの回顧展となる本展は、代表作をはじめ所蔵館以外では初公開となる《雲》（大分県立美術館蔵）など、初期から晩年までの優品約120件を展示しその魅力に迫ります。また「写生狂」を自称した画家の瑞々しい感動やユニークな目線を伝えるスケッチ類も紹介して名作誕生の背景を探ります。

見るものに今も新鮮な驚きを与え、自然美への共感を誘う平八郎の明るい世界にどうぞご期待ください。

観覧料	一般	高大生	2枚セット券［一般］
当日	1,800円	1,000円	3,000円（前売）
前売・団体	1,600円	800円	

2枚セット券
本展は前後期で展示替えが行われます。前後期をお得にご観覧いただけるセット券です（2名での同時使用も可）。

●税込価格。●中学生以下無料。●団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望される場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。●学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申込みください。●障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください（事前予約不要）。●本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。●事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。●災害などにより臨時休館する場合があります。

【前売券・2枚セット券販売期間】2023年12月14日［木］–2024年3月8日［金］
【チケットの主な販売場所】大阪中之島美術館チケットサイト、オンラインチケット（etix）、ローソンチケット（Lコード：54833）

割引情報

◎睡蓮×漣 スペシャル割引
本展の有料観覧券（半券可）のご提示で、「モネ 連作の情景」（2月10日［土］–5月6日［月・休］5階展示室）を当日観覧料から100円引きでご観覧いただけます。

◎着物でお出かけ割引
着物姿で本展ご来場の方は、当日観覧料から100円引きでご観覧いただけます。ぜひ着物でお出かけをお楽しみください。

◎おかわり割引
2回目以降のご来場時に有料観覧券の半券を提示いただくと当日観覧料から200円引きでご観覧いただけます。

＊各種当日割引券のお求めは2階チケットカウンターへ（他の割引との併用不可）

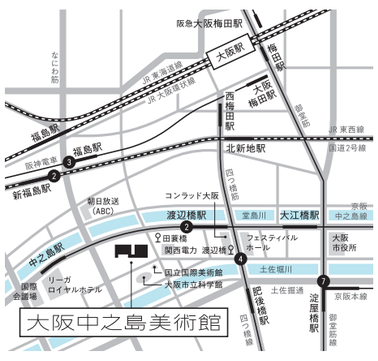
音声ガイド



ナビゲーター
駒田航（声優・カメラマン）

絶妙なトリミングで写真との関連も指摘される平八郎。人気声優であり、カメラマンとしても活躍する駒田さんがその魅力を分かりやすく紹介します。

［貸出料金］お一人様650円（税込）



関連イベント

特別講演会
【「写生狂」福田平八郎の画業】
登壇者：吉田浩太郎（大分県立美術館 主幹学芸員）
4月7日［日］14:00～15:30

講演会
【《漣》誕生の秘密】
登壇者：林野雅人（大阪中之島美術館 主任学芸員）
3月20日［水・祝］14:00～15:30

いずれも大阪中之島美術館1階ホール／定員150名／聴講無料（ただし本展の観覧券［半券可］が必要）

＊他にもイベントを開催予定です。詳細は展覧会公式サイトでお知らせします。

Instagram イベント

Heihachiro Photograph

フォトイベント「平八郎フォトグラフ」を開催中。毎月発表されるお題にちなんだ写真を撮ってInstagramにアップすると、抽選で素敵なプレゼントが当たります。詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。



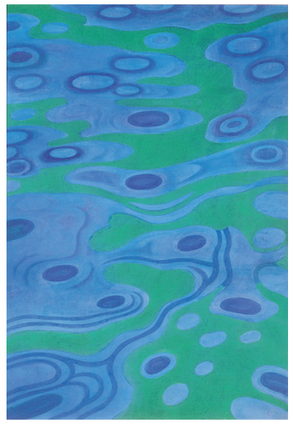
【交通アクセス】
［電車］○京阪：中之島線 渡辺橋駅（2番出口）より南西へ徒歩約5分 ○Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅（4番出口）より西へ徒歩約10分 ○JR：大阪環状線 福島駅／東西線 新福島駅（2番出口）より南へ徒歩約10分 ○阪神：福島駅より南へ徒歩約10分
［バス］○大阪シティバス：JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分 ＊お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」になります。
［駐車場］有料駐車場あり（割引サービスはございません）
＊詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
4-3-1, Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
お問い合わせ＝TEL:06-4301-7285
大阪市総合コールセンター（年中無休 8:00-21:00）

展覧会公式サイト
https://nakka-art.jp/exhibition-post/fukudaheihachiro-2023/

公式X（旧Twitter）@heihachiro50
公式Instagram @heihachiro50









1. 《雲》昭和25年（1950）大分県立美術館【通期展示】
2. 《水》昭和33年（1958）大分県立美術館【通期展示】
3. 《鮎》昭和25年（1950）京都国立近代美術館【前期展示】
4. 《雨》昭和28年（1953）東京国立近代美術館【後期展示】
5. 《花菖蒲》昭和9年（1934）京都国立近代美術館【後期展示】
6. 《竹》昭和17年（1942）京都国立近代美術館【後期展示】
7. 《朝顔》大正15年（1926）大分県立美術館【通期展示】







50没年後
福田平八郎
Fukuda Heihachiro: A Retrospective
2024.3/9 sat–5/6 mon [holiday]

| 会期 |
2024年3月9日［土］–5月6日［月・休］
前期：3月9日［土］–4月7日［日］
後期：4月9日［火］–5月6日［月・休］
＊会期中に展示替えがあります
（一部作品は上記期間以外にも展示替えを行います）

| 会場 | 大阪中之島美術館 4階展示室
| 開場時間 | 10:00–18:00（入場は17:30まで）
| 休館日 | 月曜日
（ただし4/1、4/15、4/22、4/29、5/6は開館）

| 主催 | 大阪中之島美術館、毎日新聞社
| 協賛 | 損保ジャパン、大和ハウス工業

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

どこまでも続く、きらめく水面。
銀地に群青だけで一瞬の美をとらえ、
日本画の新境地を拓いた代表作《漣（さざなみ）》。

昭和7年（1932）、琵琶湖の湖北で釣りをしていた平八郎は、不漁のため浮きをにらむ目を移したところ、水面が漣をたてて美しい動きをみせることに気がつき、その瞬間「これを絵にしてみよう」と思い立ちました。こうして誕生したのが《漣》です。
第13回帝展に出品されると、「これが絵か」、「果敢に新境地を打開」、などと賛否両論が巻き起こり、一番の問題作だとされました。現在では、自然観察による写実と日本画の装飾的な伝統を融合した代表作として高く評価されています。

《漣》重要文化財
昭和7年（1932）
大阪中之島美術館

【通期展示】

モダン、カラフル、チャーミング。
自然を見つめ、鮮やかに切り取る日本画家。待望の回顧展。

大分市に生まれた福田平八郎（1892～1974）は、18歳のとき京都に出て絵を学びました。自然を隅から隅まで観察した写実的な作品で評価を得たのち、昭和7年（1932）に《漣（さざなみ）》（重要文化財、大阪中之島美術館蔵）を発表し、その大胆な挑戦で人々を驚倒させました。その後も《竹》（京都国立近代美術館蔵）や《雨》（東京国立近代美術館蔵）など、色や形、視点や構成に趣向を凝らした作品を制作し「写実を基本にした装飾画」という新しい時代の芸術を確立しました。

大阪の美術館では初、関西でも17年ぶりの回顧展となる本展は、代表作をはじめ所蔵館以外では初公開となる《雲》（大分県立美術館蔵）など、初期から晩年までの優品約120件を展示しその魅力に迫ります。また「写生狂」を自称した画家の瑞々しい感動やユニークな目線を伝えるスケッチ類も紹介して名作誕生の背景を探ります。

見るものに今も新鮮な驚きを与え、自然美への共感を誘う平八郎の明るい世界にどうぞご期待ください。

観覧料	一般	高大生	2枚セット券［一般］
当日	1,800円	1,000円	3,000円（前売）
前売・団体	1,600円	800円	

2枚セット券
本展は前後期で展示替えが行われます。前後期をお得にご観覧いただけるセット券です（2名での同時使用も可）。

●税込価格。●中学生以下無料。●団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望される場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。●学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申込みください。●障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください（事前予約不要）。●本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。●事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。●災害などにより臨時休館する場合があります。

【前売券・2枚セット券販売期間】2023年12月14日［木］–2024年3月8日［金］
【チケットの主な販売場所】大阪中之島美術館チケットサイト、オンラインチケット（etix）、ローソンチケット（Lコード：54833）

割引情報

◎睡蓮×漣 スペシャル割引
本展の有料観覧券（半券可）のご提示で、「モネ 連作の情景」（2月10日［土］–5月6日［月・休］5階展示室）を当日観覧料から100円引きでご観覧いただけます。

◎着物でお出かけ割引
着物姿で本展ご来場の方は、当日観覧料から100円引きでご観覧いただけます。ぜひ着物でお出かけをお楽しみください。

◎おかわり割引
2回目以降のご来場時に有料観覧券の半券を提示いただくと当日観覧料から200円引きでご観覧いただけます。

＊各種当日割引券のお求めは2階チケットカウンターへ（他の割引との併用不可）

音声ガイド



ナビゲーター
駒田航（声優・カメラマン）

絶妙なトリミングで写真との関連も指摘される平八郎。人気声優であり、カメラマンとしても活躍する駒田さんがその魅力を分かりやすく紹介します。

［貸出料金］お一人様650円（税込）



関連イベント

特別講演会
【「写生狂」福田平八郎の画業】
登壇者：吉田浩太郎（大分県立美術館 主幹学芸員）
4月7日［日］14:00～15:30

講演会
【《漣》誕生の秘密】
登壇者：林野雅人（大阪中之島美術館 主任学芸員）
3月20日［水・祝］14:00～15:30

いずれも大阪中之島美術館1階ホール／定員150名／聴講無料（ただし本展の観覧券［半券可］が必要）

＊他にもイベントを開催予定です。詳細は展覧会公式サイトでお知らせします。

Instagram イベント

Heihachiro Photograph

フォトイベント「平八郎フォトグラフ」を開催中。毎月発表されるお題にちなんだ写真を撮ってInstagramにアップすると、抽選で素敵なプレゼントが当たります。詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。



【交通アクセス】
［電車］○京阪：中之島線 渡辺橋駅（2番出口）より南西へ徒歩約5分 ○Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅（4番出口）より西へ徒歩約10分 ○JR：大阪環状線 福島駅／東西線 新福島駅（2番出口）より南へ徒歩約10分 ○阪神：福島駅より南へ徒歩約10分
［バス］○大阪シティバス：JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蔵橋」下車、南西へ徒歩約2分 ＊お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」になります。
［駐車場］有料駐車場あり（割引サービスはございません）
＊詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

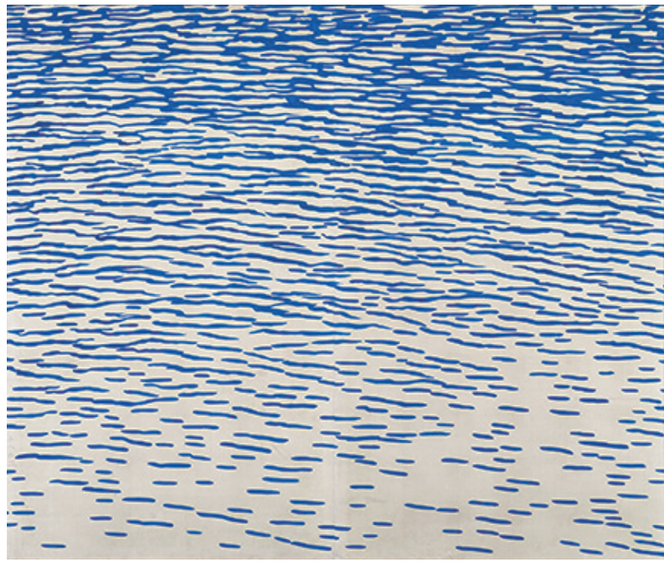
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
4-3-1, Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
お問い合わせ＝TEL:06-4301-7285
大阪市総合コールセンター（年中無休 8:00-21:00）

展覧会公式サイト
https://nakka-art.jp/exhibition-post/fukudaheihachiro-2023/

公式X（旧Twitter）@heihachiro50
公式Instagram @heihachiro50





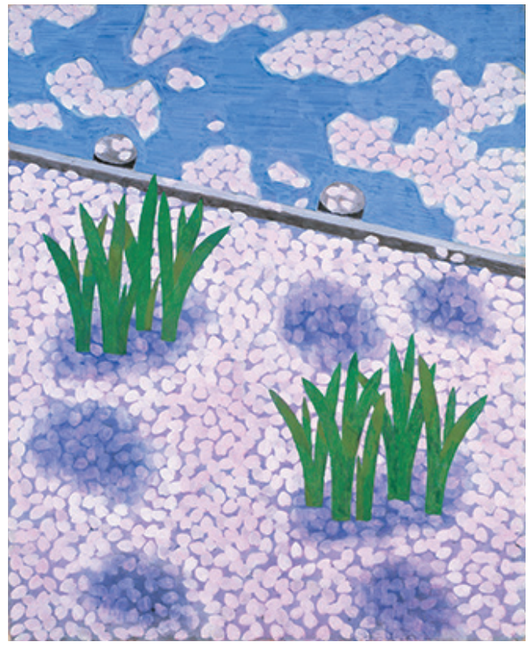




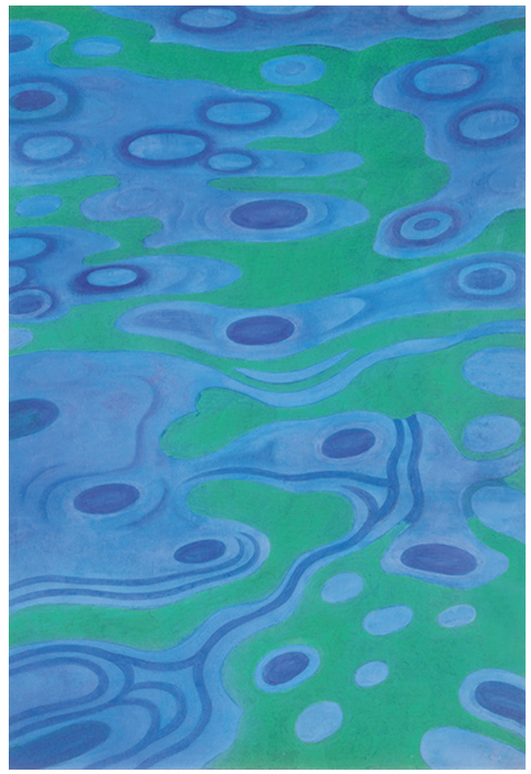


1.《花菖蒲》昭和9年（1934）京都国立近代美術館【後期展示】
2.《雨》昭和28年（1953）東京国立近代美術館【後期展示】
3.《花の習作》昭和36年（1961）京都国立近代美術館【前期展示】
4.《漣》重要文化財 昭和7年（1932）大阪中之島美術館【通期展示】
5.《青柿》昭和13年（1938）京都市美術館【前期展示】
6.《池辺の家鴨》大正5年（1916）大分市美術館【通期展示】
7.《雲》昭和25年（1950）大分県立美術館【通期展示】
8.《水》昭和33年（1958）大分県立美術館【通期展示】

1	2	3
4		5
6	7	8







Fukuda Heihachiro: A Retrospective

Fukuda Heihachiro: A Retrospective 2024.3/9 sat–5/6 [holiday] mon

50没年後
福田平八郎

2024.3/9 sat–5/6 [holiday] mon

会期
2024年3月9日［土］–5月6日［月・休］
前期：3月9日［土］–4月7日［日］
後期：4月9日［火］–5月6日［月・休］
＊会期中に展示替えがあります
（一部作品は上記期間以外にも展示替えを行います）

会場｜大阪中之島美術館 4階展示室
開場時間｜10:00–18:00（入場は17:30まで）
休館日｜月曜日
（ただし4/1、4/15、4/22、4/29、5/6は開館）

主催｜大阪中之島美術館、毎日新聞社
協賛｜損保ジャパン、大和ハウス工業

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

「昔から竹は緑青（ろくしょう）で描くものと決まっているが、
私にはまだどうしても竹が緑青に見えない。」

＊福田平八郎「初夏の写生」（神崎憲一記）
「隻語拾輯録」「国画」（第2巻第9号　昭和17年）より抜粋

戦時中、竹藪の写生に没頭した平八郎は、竹の幹の色合いや太さは成長とともに変わることに気づいた。自身の目で捉えた色で竹を表現した意欲作。

《竹》
昭和17年（1942）
京都国立近代美術館

【後期展示】



モダン、カラフル、チャーミング。
自然を見つめ、鮮やかに切り取る日本画家。待望の回顧展。

大分市に生まれた福田平八郎（1892～1974）は、18歳のとき京都に出て絵を学びました。自然を隅から隅まで観察した写実的な作品で評価を得たのち、昭和7年（1932）に《漣（さざなみ）》（重要文化財、大阪中之島美術館蔵）を発表し、その大胆な挑戦で人々を驚倒させました。その後も《竹》（京都国立近代美術館蔵）や《雨》（東京国立近代美術館蔵）など、色や形、視点や構成に趣向を凝らした作品を制作し「写実を基本にした装飾画」という新しい時代の芸術を確立しました。

大阪の美術館では初、関西でも17年ぶりの回顧展となる本展は、代表作をはじめ所蔵館以外では初公開となる《雲》（大分県立美術館蔵）など、初期から晩年までの優品約120件を展示しその魅力に迫ります。また「写生狂」を自称した画家の瑞々しい感動やユニークな目線を伝えるスケッチ類も紹介して名作誕生の背景を探ります。

見るものに今も新鮮な驚きを与え、自然美への共感を誘う平八郎の明るい世界にどうぞご期待ください。

観覧料	一般	高大生	2枚セット券［一般］
当日	1,800円	1,000円	3,000円（前売）
前売・団体	1,600円	800円	

2枚セット券
本展は前後期で展示替えが行われます。前後期をお得にご観覧いただけるセット券です（2名での同時使用も可）。

●税込価格。●中学生以下無料。●団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望される場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。●学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申込みください。●障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください（事前予約不要）。●本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。●事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。●災害などにより臨時休館する場合があります。

【前売券・2枚セット券販売期間】2023年12月14日［木］–2024年3月8日［金］
【チケットの主な販売場所】大阪中之島美術館チケットサイト、オンラインチケット（etix）、ローソンチケット（Lコード：54833）

割引情報

◎睡蓮×漣 スペシャル割引
本展の有料観覧券（半券可）のご提示で、「モネ 連作の情景」（2月10日［土］–5月6日［月・休］5階展示室）を当日観覧料から100円引きでご観覧いただけます。

◎着物でお出かけ割引
着物姿で本展ご来場の方は、当日観覧料から100円引きでご観覧いただけます。ぜひ着物でお出かけをお楽しみください。

◎おかわり割引
2回目以降のご来場時に有料観覧券の半券を提示いただくと当日観覧料から200円引きでご観覧いただけます。

＊各種当日割引券のお求めは2階チケットカウンターへ（他の割引との併用不可）

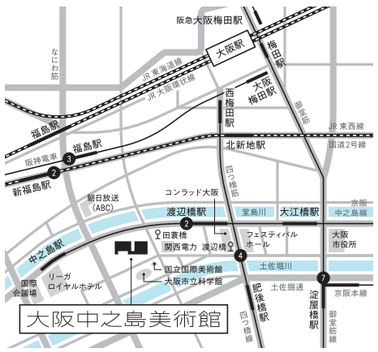
音声ガイド



ナビゲーター
駒田航（声優・カメラマン）

絶妙なトリミングで写真との関連も指摘される平八郎。人気声優であり、カメラマンとしても活躍する駒田さんがその魅力を分かりやすく紹介します。

［貸出料金］お一人様650円（税込）



関連イベント

特別講演会
【「写生狂」福田平八郎の画業】
登壇者：吉田浩太郎（大分県立美術館 主幹学芸員）
4月7日［日］14:00～15:30

講演会
【《漣》誕生の秘密】
登壇者：林野雅人（大阪中之島美術館 主任学芸員）
3月20日［水・祝］14:00～15:30

いずれも大阪中之島美術館1階ホール／定員150名／聴講無料（ただし本展の観覧券［半券可］が必要）

＊他にもイベントを開催予定です。詳細は展覧会公式サイトでお知らせします。

Instagram イベント

Heihachiro Photograph



フォトイベント「平八郎フォトグラフ」を開催中。毎月発表されるお題にちなんだ写真を撮ってInstagramにアップすると、抽選で素敵なプレゼントが当たります。詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。

【交通アクセス】
［電車］○京阪：中之島線 渡辺橋駅（2番出口）より南西へ徒歩約5分 ○Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅（4番出口）より西へ徒歩約10分 ○JR：大阪環状線 福島駅／東西線 新福島駅（2番出口）より南へ徒歩約10分 ○阪神：福島駅より南へ徒歩約10分
［バス］○大阪シティバス：JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分 ＊お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」になります。
［駐車場］有料駐車場あり（割引サービスはございません）
＊詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

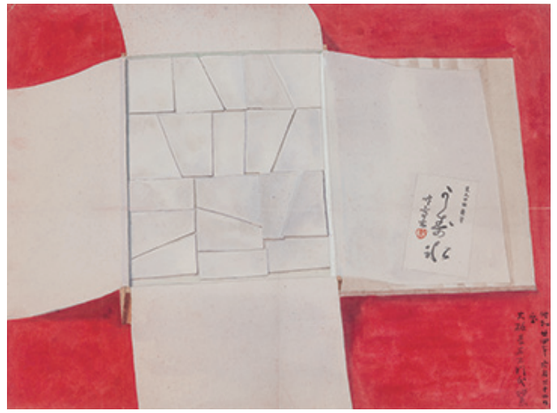
大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
4-3-1, Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
お問い合わせ＝TEL:06-4301-7285
大阪市総合コールセンター（年中無休 8:00-21:00）

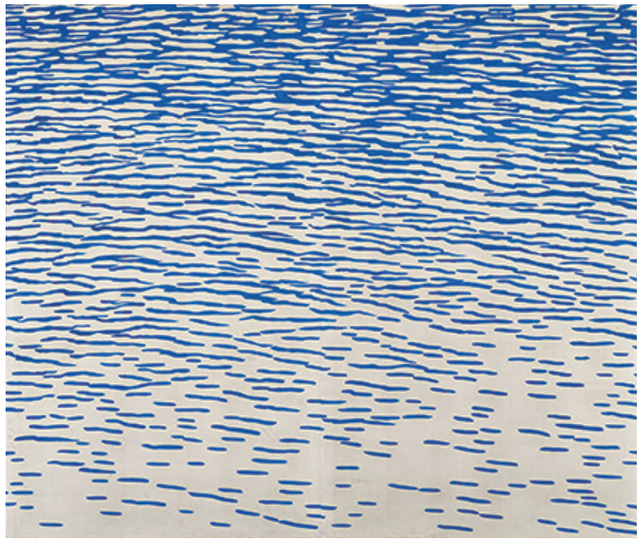
展覧会公式サイト
https://nakka-art.jp/exhibition-post/fukudaheihachiro-2023/

公式X（旧Twitter）@heihachiro50
公式Instagram @heihachiro50







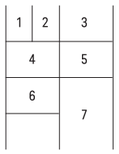








1. 《雲》昭和25年（1950）大分県立美術館【通期展示】
2. 《新雪》昭和23年（1948）大分県立美術館【通期展示】
3. 《素描（うす氷）》昭和24年（1949）大分県立美術館【通期展示】
4. 《漣》重要文化財 昭和7年（1932）大阪中之島美術館【通期展示】
5. 《冬日》昭和20年（1945）大分市美術館【通期展示】
6. 《竹》昭和17年（1942）京都国立近代美術館【後期展示】
7. 《花菖蒲》昭和9年（1934）京都国立近代美術館【後期展示】



Fukuda Heihachiro: A Retrospective
Fukuda Heihachiro: A Retrospective 2024.3/9 sat–5/6 [holiday] mon
50没年後 福田平八郎

2024.3/9 sat–5/6 [holiday] mon

| 会期 |
2024年3月9日［土］–5月6日［月・休］
前期：3月9日［土］–4月7日［日］
後期：4月9日［火］–5月6日［月・休］
＊会期中に展示替えがあります
（一部作品は上記期間以外にも展示替えを行います）

| 会場 | 大阪中之島美術館 4階展示室
| 開場時間 | 10:00–18:00（入場は17:30まで）
| 休館日 | 月曜日
（ただし4/1、4/15、4/22、4/29、5/6は開館）

| 主催 | 大阪中之島美術館、毎日新聞社
| 協賛 | 損保ジャパン、大和ハウス工業

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

「僕は植物の写生をする場合にはいつも対象物に触れる事を忘れない。
（中略）すべて愛の極致は、この触れるという事に帰着するのである。」

＊福田平八郎「植物描法」
「日本画新技法講座第2巻」（昭和8-9年）より抜粋



《桃》（部分）
昭和31年（1956）頃
大分県立美術館

【通期展示】